授業づくり研修講座　　実践レポート

座間市立相模中学校　　門脇章子

調べたことを整理してわかりやすく　　　　中学１年生

（レポート）（６時間扱い）

1. 課題を決める

身近なものや身のまわりのできごとから、レポートの課題を決める。

1. 情報を集めて整理する

基本的には学校の図書室の本を利用する。

本で見つからない人は家でインターネットなどを利用し、資料を持ってきてもよい。

自分の家の本でもよい。

注意　　インターネットの情報はすべて真実ではない。

1. レポートにまとめる。（レポート用紙はこちらで準備）

教科書４８～４９ページを参考にする。

表紙を必ずつける。表紙以外で２枚以上を目標にする。

表紙の形式（書く内容）は統一した。

工夫した点

１年生で、初めてのレポートなので、形式（はじめに・調査方法・まとめ・参考資料など）をきちんと書かせるようにした。内容は、歴史・スポーツ・自然・食べ物など、自分が興味のある分野を選ばせた。どうしても決まらない生徒には、歴史や好きなスポーツをすすめると、自分の好きなジャンルの本をさがしてくることができたようだ。とくに、作文の苦手な生徒でも、野球だったり、サッカーだったり、自分の好きなスポーツだと、興味が持てて書けるようだ。また、歴史上の人物は、本の数も多く、説明の文章もまとまっていて、生徒には書きやすいようだ。まとめには、必ず自分が調べたあとの感想・考えを書かせた。

今後の課題

本を資料にすると、どうしても本の文章をそのまま書き写す場合が多いが、最初は形式をきちんとおさえて、

書くというのをねらいとした。表紙もつけて完成すると、満足感はあったようだ。文章力はまだまだだが、生徒達の想像力はなかなかすごいと思った。

例　宇宙　～宇宙開発と宇宙の星々の秘密を探る

　　なぜ明智光秀は本能寺の変を起こしたのか

　　パフォーマンス向上に影響する体幹～体幹のキホンを知り、パフォーマンス向上につなげる

説明文「玄関扉」のあとに、三角ロジックの説明があったので、それを学習したあと、三角ロジックの練習問題を何題かやったあと、意見文も書かせたが、それもなかなか面白かった。三角ロジックの事実・理由づけ・主張を意識づけさせるというのに取り組んだのは初めてだったが、今後もまだまだ、自分自身の勉強が必要だと感じた。